

わたしたちのまちの予算

令和2年度当初予算は、
『町民の世代をつなぎ
笑顔あふれる予算』

令和2年度は、第二次越前町総合振興計画の中間年となります。これまでの成果と課題を踏まえ、計画の目標達成に向け、着実に取組を推進していくます。

また、本町発展の礎となる新庁舎の完成を迎えるなど、合併の総仕上げとなる重要な年でもあります。

このため、令和2年度当初予算を、

**町民の世代をつなぎ
笑顔あふれる予算**

として編成しています。町民が「ふるさと越前町」に誇りと愛着を持ち、誰もが住み続けたいと思える魅力溢れるまちの実現を目指すとともに、将来にわたり持続可能な財政運営を確立し、各種施策を力強く、かつ堅実に推し進めます予算としています。

令和2年度当初予算額は、一般会計、特別会計、事業会計を合わせて

予算規模

202億7,117万2千円で、前年度より5億836万9千円の減（2.4%減）となりました。

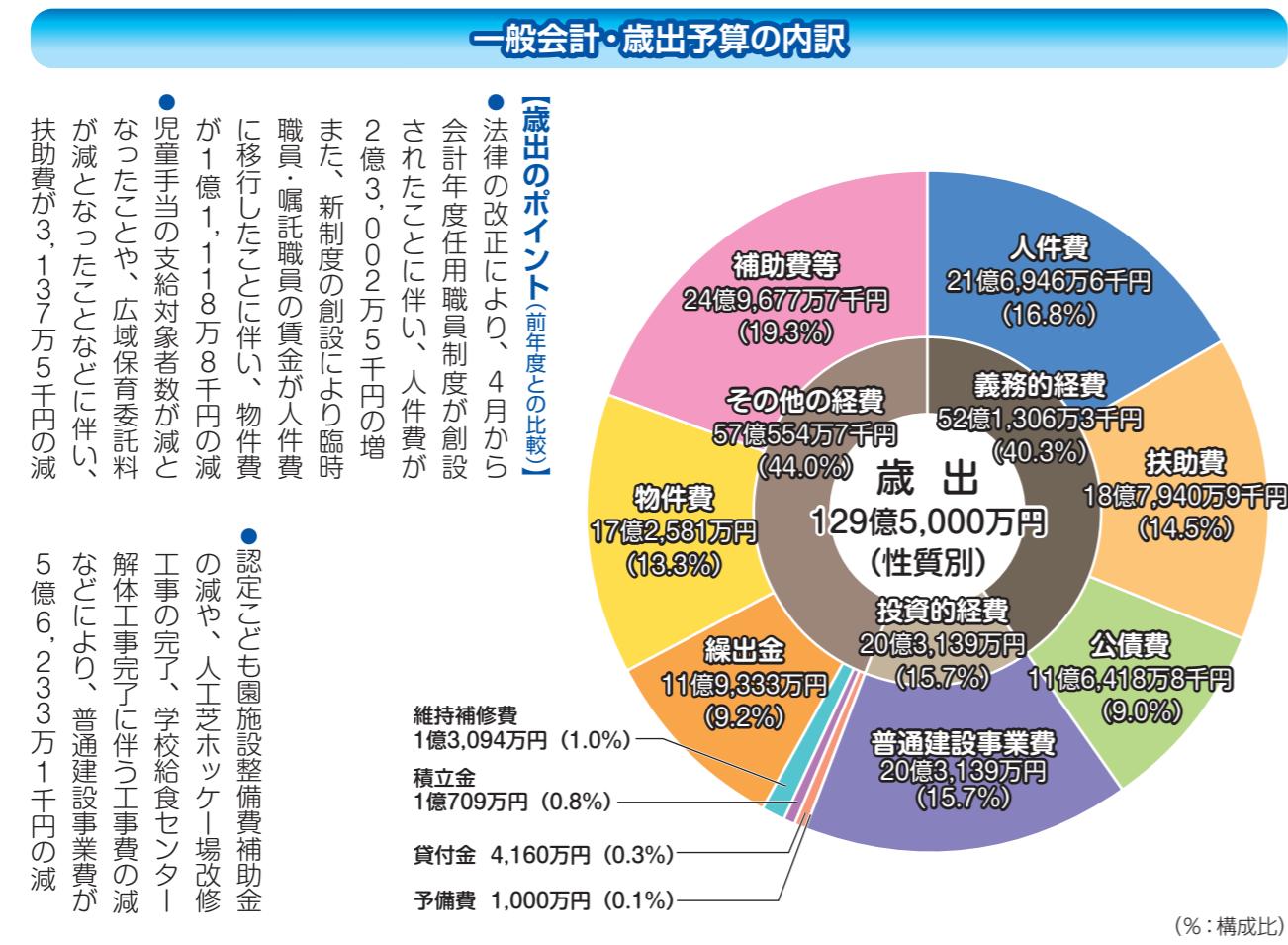
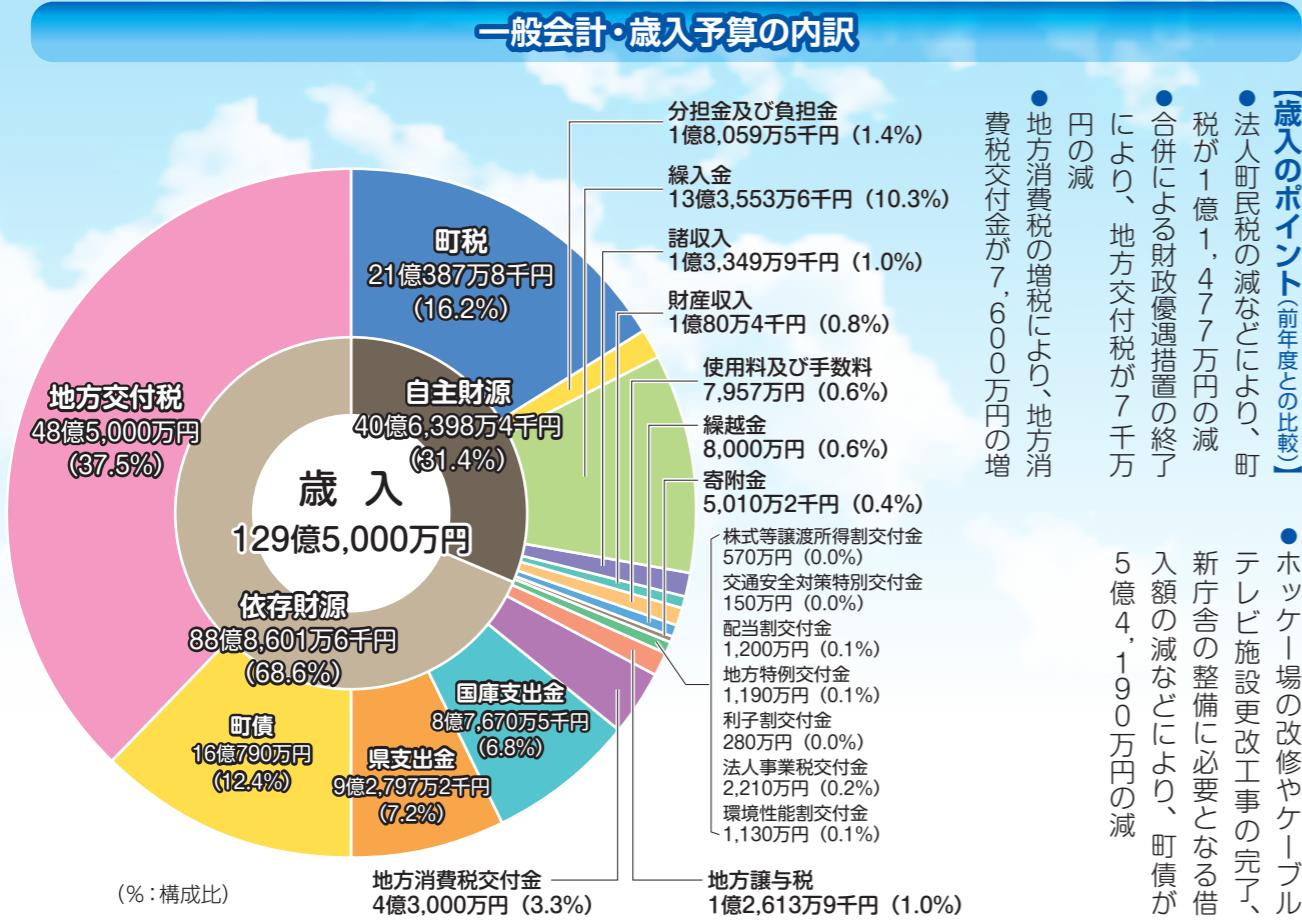
一般会計では、129億5,000万円で、前年度より3億8,000万円の減（2.9%減）となりました。

その中でも今年度は5つの重点施策に基づき、事業を進めていきます。

主な事業は、4ページにまとめてあります。役場新庁舎の整備、農業・産業の活性化、教育環境の充実など、越前町の歴史と伝統を活かしながら、未来を築く事業を実施していきます。

①行政拠点施設である新庁舎の整備
②豊かな観光資源とおもてなしの心で地域を潤す観光立町の実現
③地域産業の振興と担い手の確保・育成と雇用の創出
④次代を担う人材を育む包括的な支援の充実
⑤安全安心で快適な住環境の整備による移住定住の促進

会計名	令和2年度予算額①	令和元年度予算額②	増減額①-②=③	増減率(%)①/②×100
一般会計	129億5,000万円	133億3,000万円	▲3億8,000万円	▲2.9
特別会計	64億9,132万3千円	65億9,292万5千円	▲1億160万2千円	▲1.5
事業会計	202億7,117万2千円	207億7,954万1千円	▲5億836万9千円	▲2.4
合計				



主な事業

**快適で安全に住み続けられる
まちづくり**

**誰もが健康で暮らしやすいを
実感できるまちづくり**

安心して学校生活を送ることができる
環境を整備します。
[4,683万9千円]

**ふるさとの個性を活かし
交流を育むまちづくり**

Special feature article

●防災行政無線の更新

災害時の緊急情報の周知を強化・徹底するため、老朽化が進んだ越前地区的防災行政無線設備を更新します。

[3億5,921万6千円]

●通学支援と公共交通の利用促進

高校への通学にバスなどの公共交通を利用する学生に対し、保護者の経済的負担の軽減や定住の促進を目的として、定期券の購入費用の一部を助けています。

[4,130万円]

●高齢者の安全運転をサポート

高齢者が車のペダルを踏み間違える事故が全国的に多発していることから、「ペダル踏み間違い安全装置」の設置費用の一部を補助し、高齢者の交通事故防止を図ります。

[1,490万円]

●ため池の安全な管理

防災重点ため池のハザードマップを整備することにより、災害発生時の迅速な避難と、被害の低減を図ります。

[1,000万円]

●地域医療の推進

織田病院において、経年劣化している医療機器の更新と調理室の空調設備の入替えを行います。

[3,876万円]

●人々の交流とスポーツ振興

東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、町ではホッケーカナダ代表チームのキャンプ誘致、オリンピック・パラリンピック聖火イベントを実施し、人々の交流とスポーツの振興を行います。

[836万2千円]

●学校教育環境の充実

町内の小・中学校の中でも特に老朽化が進み、危険を伴うおそれのある学校施設（体育館屋根・運動場・屋外遊具など）の改修や撤去を行い、児童・生徒が

●越前焼の継承および振興

「職人塾（実技研修）」を開設し、越前焼の技術継承や作陶を志す塾生を支援します。また、北陸新幹線の県内開業に向け、越前焼の利用・販路の拡大に取り組み、越前焼産地の振興を図ります。

[1,527万円]

●農業の振興

中山間地域で直面している農業者の高齢化・耕作放棄地の発生などの問題に対処するため、「越前町地域農業サポートセンター」を開設し、地域の農業生産維持と活性化に努めます。

[2,62万5千円]

●行政拠点施設の整備

平成30年度から建設工事を行つてきました新庁舎は、本年度で完成となります。新庁舎でのスマートな業務開始に努めるとともに、町民のみさんの利用しやすい越前町役場を目指します。

[6億9,193万5千円]

●持続可能な健全財政のまちづくり

平成22年度から発掘調査を行つてきた『番城谷山古墳群（天王区）』から出土した埴輪などの企画展覧会を行い、町の新たな歴史の魅力を発信します。

[306万5千円]

天王川美化運動を実施しました

3月15日、朝日地区の河川周辺で、第46回天王川美化運動が行われました。メイン会場となる天王川流域では、近隣集落のみなさんがゴミ拾いや草刈りに汗を流しました。

この活動を始めた頃から比べると、捨てられているゴミの量は減っているものの、空き缶や空きびんなど、大量のゴミが集まりました。

美しい景観、住みよい環境を作るため



第14回福井県ジュニア育成強化剣道大会

2月2日、県立武道館で第14回福井県ジュニア育成強化剣道大会が開かれ、6年生男子の部で矢田部暁さん（織田小6年）、5年生女子の部で赤星心晴さん（朝日小5年）が優勝に輝き、4年生男子の部で山本優心さん（城崎小4年）が準優勝しました。

また、5年生女子の部で内藤萌日さん（朝日小5年）、4年生男子の部で山口海司さん（四ヶ浦小4年）がベスト8に入賞しました。

その結果、5年生以下の4人が令和2年度の県少年剣道強化指定選手となりました。今年1年間、毎月1回県立武道館で強化練成会に参加します。町民のみなさんがあたたかいご声援をお願いします。

※学年は大会当時のものです。



▲左から内藤 萌日さん、赤星 心晴さん、矢田部 暁さん、山口 海司さん、

第13回越前大自慢写真コンテストの入賞者が決まりました

第13回越前大自慢写真コンテストの入賞者が、応募者数76人、応募総数227点の中から25点が選定され、鯖江市の金谷広行さんの「舞い上がり！陶芸の空へ」がグランプリに選ばされました。

今回の入賞者は次のみなさんです。

グランプリ

金谷 広行（鯖江市）

四季の絶景部門

近藤 正利（越前市）

越前大自慢部門

田辺 英一（東京都）

優秀賞

藤村 留美（敦賀市）

四季の絶景部門

大谷 繁一（坂井市）

越前大自慢部門

三田村久美子（鯖江市）

特別賞・団体賞

藤原 達夫（滋賀県）

越前町長賞

辻 幸子（鯖江市）

越前町観光連盟賞

高橋 豊子（鯖江市）

福井新聞社賞

安木 武夫（福井市）

福井県カメラ商組合賞

高橋 正治（福井市）

高橋 正治（越前町）

相模健太郎（福井市）

※受賞作品はえちぜん観光ナビでご覧いただけます。



▲グランプリ作品「舞い上がり！陶芸の空へ」